

ジョルダナーノ作曲 歌劇「アンドレア・シェニエ」

151230

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物					見どころ・聴きどころ		
第一幕 30分	1	社会への不満を訴える ジェラルールと シェニエ	1789年革命前夜、田舎にあるコワニー伯爵の邸宅でパーティーが始まる。 父と共に長く使える召使いのジェラルールは、貴族階級に対して憎しみを抱き、父の苦労に涙ぐむ。作家のフレヴィル・修道院長達の招待客は、不穏な世の中を噂しあう。	15			マッダレーナ	ベルシ	ジェラルール	伯爵夫人	ジェラルールの歌	
	2		詩人シェニエは、伯爵夫人から即興詩を求められるが、気分が乗らず断る。 その娘マッダレーナからも求められるが、からかい半分であったので、 シェニエは、マッダレーナを諭すように、「愛」と「社会の不平等」、を語る。 マッダレーナは自分の軽率さを詫びるが、シェニエに対する愛が芽生える。 ジェラルールは、貴族社会を呪いつつ、強引に父を連れてコワニー家から出て行く。	15		シェニエ	マッダレーナ		ジェラルール	伯爵夫人	シェニエの歌	
第二幕 30分	1	恋を取り持つ ベルシと密偵	5年経過した1794年6月の革命後、過激派ロベスピエールによる恐怖政治のパリ。 密偵は、ジェラルールの命令により、マッダレーナを追っている。 ベルシは、マッダレーナのために、過激派から狙われているシェニエの消息を追っている。 マッダレーナは、元侍女のベルシが娼婦になったことにより支えられている。	5				ベルシ		密偵	ベルシの歌	
	2		理想的な愛を求めるシェニエは、匿名の女性からの手紙により恋心が増すが、友人のルーシェから娼婦であろうと言われ、諦めてパリ脱出のための通行証を受け取る。	7	ルーシェ	シェニエ						シェニエの歌
	3		ジェラルールは、愛するマッダレーナの容姿について、密偵に熱い想いをもち、伝える。 シェニエは、ベルシから匿名の手紙を書いた女性が会いに来る旨、伝えられる。	8	ルーシェ	シェニエ		ベルシ	ジェラルール	密偵		ジェラルールの歌
	4	愛を誓う マッダレーナとシェニエ	会いに来た女性はマッダレーナで、シェニエは、5年前に説教したことを、思い出す。 マッダレーナは、孤独で恐怖を抱いている旨告白し、シェニエに安らぎと救いを求める。 シェニエは、匿名の手紙の女性とマッダレーナのイメージが合致し、永遠の愛を誓い合う。 密偵から連絡を受けたジェラルールがマッダレーナに会いに来るが、相手がシェニエと知らずに決闘し負傷させられるが、好感を持っていたシェニエと知り、逆に逃げるよう、言う。	10	ルーシェ	シェニエ	マッダレーナ		ジェラルール	密偵	愛の二重唱	
第三幕 45分	1	愛に苦しむ ジェラルール	革命裁判所の大広間でサンキュロットのマテューが寄付を求める演説をしているが、ジェラルールに変わると寄付が集まり出す。老女マデロンは、15歳の孫を差し出すことにする。	10					ジェラルール			
	2		ジェラルールは、穏健派として手配リストに載っていたシェニエが逮捕されたことを聞く。 ジェラルールは、密偵から、恋敵を抹殺するための告発状を早く作成するよう、言われる。 ジェラルールは、シェニエの理想主義を知っているので、自分に矛盾を感じ、涙する。	10					ジェラルール	密偵	ジェラルールの歌	
	3		マッダレーナは、シェニエの釈放を求めてジェラルールに会いに来る。 ジェラルールは、幼い頃から続くマッダレーナに対する愛を告白し、肉体を求める。 憎まれていると思っていたマッダレーナだが、シェニエが釈放されるならば、と承諾する。 しかし、心からの愛を得られないと知ったジェラルールは、救出に努力することを誓う。	12			マッダレーナ		ジェラルール		マッダレーナの歌	
	4		死刑を宣告される シェニエ	革命裁判が始まり、検察官フーキエ・ダンヴィルが順番に告発し、シェニエの順番となる。 シェニエは、恥辱の死でなく名誉ある死を望む。ジェラルールは、告発自体が虚偽である旨主張するが、もはや聞き入れられず、死刑を宣告される。	13		シェニエ	マッダレーナ		ジェラルール		シェニエの歌
第四幕 15分	1	断頭台に向かう二人	サン・ラザール監獄の中庭の夜更け、シェニエは、詩を読んでいる。 マッダレーナは、他の女性の身代わりになってシェニエと一緒に死ぬために、看守シュミットを買収する。マッダレーナを連れてきたジェラルールは、泣いてる。 看守の点呼により二人は馬車に乗り込み、断頭台に向かう。	15	ルーシェ	シェニエ	マッダレーナ		ジェラルール		シェニエの歌 愛の二重唱	

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。